



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより



あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」—酪農家の心を食卓へ—

特集

令和3年度中国生乳販連
良質生乳出荷者表彰伝達式開催

現場潜入

大山乳業農協 直売所 カウイーのみるく館 大解剖！

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

山乳業農業協同組合
令和3年度中国生乳販連
良質生乳出荷者表彰
伝達式



congratulations!
皆さん受賞おめでとうございます！

今年もホルスタイン部門で 組合生産者17名が受賞

令和2年度より中国地区（鳥取、島根、岡山、広島、山口）で年間を通じて良質な生乳を出荷していただいた生産者を表彰する制度が中国生乳販連主催で開始されました。2回目となる令和3年度表彰は、岡山県にて受賞者を招いて表彰式を実施する予定でしたが、コロナ禍による県外開催の表彰式への参加が難しい事情もあつた為、昨年同様、当組合での表彰伝達式が7月20日（水）に開催されましたので、ご紹介いたします。

本制度は、良質な生乳を安定的に乳業者に供給することで有利販売に繋げ、酪農経営の安定を図りながら乳質の向上と生産意欲の高揚を図



表彰式の様子



小前組合長から記念パネルを受け取る川本さん

ることを目的として乳価統一テーブルと併せて開始されました。今までも各県ではそれぞれ独自の基準を設け表彰制度が実施されていましたが、統一した基準で年間出荷乳量や品種、学校などの6部門に分けて表彰する制度です。

受賞者の半数以上を 鳥取県が生産者が占める

中国地区の令和3年度の出荷者は498名で、6部門の表彰者は全員で28名

となりました。その中でもジャージー部門（2名を除くホルスタイン部門（26名）で当組合生産者17名が受賞となり、受賞者の半数以上を鳥取県が生産者が占めました。最優秀賞は3部（年間出荷500tより1,000t）を除く学校部門を含めたホルスタイン4部門で受賞することが出来ました。また、受賞者数は昨年より1名多い結果となりました。受賞者は一覧表で記載してありますのでご覧ください。

令和3年度 中国生乳販連 良質生乳出荷者表彰伝達式開催される

—— 最優秀受賞者の喜びの一言を頂きました ——

日頃よりサポート頂いている大山乳業農協の方々をはじめ、関係各所の方々に感謝申し上げます。厳しい情勢ではありますが、酪農家として工夫をしながら今後も経営を続けていこうと思っております。関係者の方々は、引き続きサポートをお願いいたします。



別所 昌治さん

就農して30年が経ちますが、牛の改良スピードになかなか追いつけず、難しい業界だと実感しております。そこに加え、世界情勢、日本経済、酪農業界においても大変厳しい状況ではありますが、何にも負けずに皆様に「おいしい牛乳」と言ってもらえるような生乳を出荷できる生産者であり続けられるように、これからも頑張っていきます。



手嶋 和博さん

今回受賞できたのは、日頃から基本的なことをしっかり行ってきたことの現れだと思っております。今後も続けて賞を受賞できるように、生徒と一緒に頑張っていきます。



鳥取県立倉吉農業高等学校
小林 克美先生

去年1年間は、コロナ禍でいろいろな大変なこともありましたが、家族や従業員が病気にもならず頑張ってくれたことが大変嬉しく思います。来年も受賞できるように頑張ります。



川本 和昭さん

中国地区良質生乳表彰一覧表（鳥取県受賞者一覧） 得点順

部門(年間乳量)	表彰区分	農家名
1部 受賞者 (10名中3名)	ホルスタイン部門 (250 t 未満)	最優秀賞 手嶋 和博
		河本 道広
		村上 敬一
2部 受賞者 (7名中6名)	ホルスタイン部門 (250 t ~ 500 t 未満)	最優秀賞 別所 昌治
		優秀賞 横山 昭
		影井 正美
		山下 正太
		加藤 より子
3部 受賞者 (5名中4名)	ホルスタイン部門 (500 t ~ 1,000 t 未満)	優秀賞 川本 潤一郎
		上村 隆光
		高間 理拓
		真山 秀樹
4部 受賞者 (3名中3名)	ホルスタイン部門 (1,000 t 以上)	最優秀賞 川本 和昭
		優秀賞 (株)ブッシュクローバーズ
		西山 友之
6部(受賞1校)	高校・大学校部門	最優秀賞 鳥取県立倉吉農業高等学校

※出荷者が多い部門には表彰対象者が多く設定してあります。5部はジャージー部門となります。

県外からも評価される
鳥取県の乳質

令和3年度は、当組合生産者17名が受賞となりましたが、そのうち昨年に引き続き受賞された方は、11名でした。良質な生乳を出荷することは大変難しく、さらにそれを継続することは、より難しいことです。

今回、県外の生産者で受賞された方の声を聞くと「大山乳業の乳質を目標に乳質改善に取り組んできた」と、嬉しい言葉も頂いています。鳥取県の乳質は、県外からも高く評価されていると改めて感じました。これは、生産者・従業員の皆様が昨今のコロナ禍、飼料・光熱費高騰の厳しい酪農情勢の中でも日々の努力を惜みず、様々な取り組みを実践されている結果です。

生産者皆様の良質生乳出荷への意識の高さが牛乳の「美味しさ」に繋がっていることは間違いありません。本年も生産者・大山乳業が一丸となって、良質生乳出荷者を目指して頑張りますように！



現場 潜入

白バラ商品の魅力を発信 大山乳業農協 直売所 カウイーのみるく館 大解剖！

白バラ商品と
お客様を繋ぐ場所
「カウイーのみるく館」



「いらっしゃいませ」「少々お待ちください」「お待たせいたしました」「かしこまりました」「ありがとうございます」「恐れ入ります」「申し訳ございません」。開店前の店内では7つの言葉が響きます。

この7つの言葉は『接客7大用語』といわれ、お客様へ気持ちの良い接客を行うための代表的な言葉で、スタッフは朝礼時に全員で復唱してからお客様を迎えているそうです。

大山乳業農協の工場の敷地内にある「カウイーのみるく館」は、地元では「みるく館」や「白バラの直売所」と呼ばれ親しまれています。2006年10月にオープンし、今年で16年を迎えました。

スタッフは、店頭での接客や商品の仕入れ・発注・陳列、店内や周辺の清掃はもちろん、店舗業務の傍ら、ネットショップの受発注も行っています。また、店内POPの作成やイベント補助は営業課、PR活動は総合企画課、周辺の草刈り作業などは製造管理課が行うなど、多くの部署の協力によりお客様にとって心地よい空間が作られています。

今回は、大山乳業農協でお客様と接することができる数少ない場所で商品の魅力を発信し、日々皆様に愛される店舗を目指す「カウイーのみるく館」をご紹介します。

みるく館スタッフ ご紹介!

みるく館で働くスタッフの業務・オススメ商品等を1人ひとりご紹介します。

- ① 名前、みるく館 所属歴
- ② 普段の業務、業務を行う上で大切にしていること
- ③ オススメ商品
- ④ 皆さんへメッセージ

みるく館に関する情報は
組合公式ホームページからも
確認頂けます。
ぜひご覧ください!



- ① 田中 伸二さん、2年目(店長)
- ② みるく館の店長をしており、普段は物流課事務所にいることが多いです。売上管理、企画管理、月次検証等を行い、外部・内部の関係部署との連携を行っています。店舗スタッフ(バイトも含む)の育成・教育を行い、お客様に喜んで頂ける店舗を日々意識しています。定期的に店舗周辺の清掃(草刈り等)も行い、きれいな店舗作りにも取り組んでいます。
- ③ 昨年4月の着任時にもオススメさせて頂いた大山バウムです。贈答品などへもちろん、自分へのご褒美にもおすすめです。乳風味たっぷりな乳業メーカーが作った洋菓子ならではの味わいが好みます!
- ④ 現在コロナ禍にありますが、ご来店頂いておりますお客様も感染予防対策等を頂き、誠に感謝申し上げます。鳥取のソウルドリンク(白バラ牛乳)のご利用はぜひ当店にてお願い申し上げます!



- ① 高橋 美和さん、15年目
- ② 商品の発注、品出し、接客、売り上げの伝票処理、ネットショップ業務補助等を行っています。お客様が気持ちよくお買い物できるように心掛けながら業務を行っています。正確な商品の説明ができるよう、日々勉強中です。
- ③ 1位は白バラ牛乳です!他にもこの春発売されたプレミアムアイスの抹茶味やロールケーキ全般もオススメです!
- ④ みるく館では、ほぼ毎日サービスデーを実施しています。皆様のご来店をお待ちしています。



- ① 米田 優南さん、2年目
- ② 接客、ネットショップ、店舗の商品管理を行っています。1番心掛けていることは笑顔で接客することです!自分がされて嬉しくなる、また行きたいと思って頂けるような接客を目指しています。ネットショップ業務のメール対応では、お客様の顔が見えない分、正しい言葉遣いなどに気をつけながら業務を行っています。
- ③ 白バラコーヒーです。牛乳のおいしさと、コーヒーの苦みが合わさって年代問わず幅広く飲んで頂ける商品です!コーヒーが苦手な私も白バラコーヒーだけは飲むことができる唯一のコーヒーです。
- ④ 酪農家さんの想いが込められた白バラ牛乳をはじめ、菓子・アイス・白バラグッズ等、多数の商品を取り揃えています。今のような暑い時期には白バラ牛乳を使ったソフトクリームもオススメです!ご来店をお待ちしています。



- ① 田中 奈奈さん、1年目
- ② 接客とネットショップの受注発注を行っています。親切な対応ができるように心掛けています。
- ③ 白バラ牛乳です!幼い頃から給食で毎日飲んでいた、とてもなじみのある商品です。
- ④ いつもお買い物に来て頂き、ありがとうございます。コロナ禍ですが、感染対策を徹底して皆様のご来店をお待ちしています!



丁寧な接客を心掛けています



外観整備には、店長も取り組みます!



オススメのソフトクリーム、ぜひ食べに来てください

大山乳業レポート

令和4年度 鳥取県牛乳協会長表彰 大山乳業農協から6名が表彰されました



7月8日(金)、大山乳業農協にて、令和4年度 鳥取県牛乳協会長表彰が行われました。

この表彰は永年、牛乳処理事業、牛乳処理業界の指導育成に功労・功績のあった方へ贈られるもので、表彰式では小前組合長より、お祝いの言葉と共に労いの言葉が伝えられました。

【表彰者】

後列(左側より)

桑本 実さん 溝内 文穂さん

前列(左側より)

穉近かおりさん 乗本 克之さん

中井万希子さん

※小谷 聡さんは当日欠席



募金贈呈のようす(亀田常務と事務局長 奥谷様)



カウイーのみるく館に募金箱を設置しています

大山乳業レポート

一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会 永年勤続表彰にて組合から2名表彰を受けました

6月27日(月)、大山乳業農協にて、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会 永年勤続者表彰が行われました。コロナ禍の影響で、実際の会場で行われた表彰式への参加はできませんでしたが、大山乳業農協からは製造部の竹歳審議役と販売部の上山審査役が表彰を受けられました。

この表彰は、協会創立60周年を記念し行われたもので、発酵乳・乳酸菌飲料の製造において永年にわたり衛生・品質の向上にご尽力された方へ贈られるものです。今後とも一層ご活躍されますよう、お祈りいたします。



(写真左から) 販売部 上山審査役、
製造部 竹歳審議役

総合企画課レポート

公益財団法人日本ユニセフ協会へ 寄付金を贈呈しました

7月8日(金)、亀田常務は鳥取県生協 中部支所を訪問し、鳥取県ユニセフ協会へユニセフ募金を贈呈されました。

ユニセフ(UNICEF:国連児童基金)は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動している国連機関です。大山乳業農協は長年にわたり、団体賛助会員として鳥取県ユニセフ協会の活動を支援しており、運営委員会への参加や、ウォーキングイベントへの商品提供を行っています。

今回寄付した募金は、大山乳業農協 直売所カウイーのみるく館にて数年にわたり募ったものです。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

この度の贈呈式では、新しい募金箱を頂きました。頂いた募金箱は現在、直売所カウイーのみるく館と、大山まきばみるくの里に設置しています。

大山乳業農協は今後も、鳥取県ユニセフ協会と協力し、ユニセフへの支援活動に取り組んでいきます。



質問を受ける田中さん



商品の多さにびっくり！



授業のようす



授業では牛のタペストリーも使用しました

総合企画課レポート

琴浦町立八橋小学校 2年生が「町たんけん」でみるく館に来店

6月30日(木)、琴浦町立八橋小学校の2年生5名が、生活科の学習で行われた「町たんけん」で、大山乳業農協の直売所カウイーのみるく館に来られました。

児童の皆さんは、「みるく館の1番の人気商品は何ですか?」や「ソフトクリームは1日どれくらい売れていますか?」など、事前に考えてきた質問をみるく館のスタッフに質問し、一生懸命メモを取る様子が印象的でした。

後日大山乳業に届いたお礼の手紙には、「お忙しい中、色々な質問に答えて下さりありがとうございます」といったスタッフへの感謝の気持ちや「今度は家族と一緒に買い物に来ます」といった嬉しい言葉が書かれていました。

当日担当したみるく館スタッフの田中さんからは「児童の皆さんが一生懸命聞き取りして、メモを取ってくれたことが嬉しかったです。またお店に買い物に来てほしいです」との感想がありました。

大山乳業農協は、今後も地域の教育活動を支える取り組みを積極的に行っていきます。

営業課レポート

小学生に酪農や牛乳を紹介 西伯小学校で出張授業を開催しました

6月29日(水)、鳥取県南部町の西伯小学校で出張授業を行い、4年生の2クラスを対象に、45分間の授業を2回行いました。

今回は生産者が搾乳した生乳が、牛乳になり学校の給食として届くまでに関わる人たちのことを写真や動画を交えて楽しく学べる授業を行いました。授業の最後には、児童から「牛1頭当たりに出る乳の量はどれくらいですか?」などの牛に関する質問や「大山乳業では白バラ牛乳を1日にどれくらい製造しますか?」といった製造工場に関連した多くの質問が寄せられ、児童の皆さんの「もっと知りたい!」という気持ちが伝わり、とても嬉しく感じました。

新型コロナの影響で、積極的に学校へ訪問して学習会を行う機会は多くありませんが、小学生に酪農のことや牛乳のことについて知ってもらう良い機会として、今後もPRを継続していきたいと思えます。

指導課通信

今月のトピックス

- ・ 第三者継承で酪農経営をスタートしました！
吉田 弘司 牧場 (大山町)

第三者継承で酪農経営をスタートしました！

吉田 弘司 牧場 (大山町)

令和3年12月1日より、香取地区で酪農経営をされていた行天牧場を吉田弘司さんが第三者継承し、酪農経営をスタートさせました。

吉田さんは同じ香取地区の牧場に長年勤務され、酪農経験は豊富でいらつしゃいますが、自身の経営となるとまた違った苦労や喜びもあるそうです。今回は、経営開始から半年経過した吉田牧場の近況とこれからの意向を伺いました。



吉田さん (左) と行天さん (右)。リニューアルした牛舎の前で

●現在の飼養頭数は？

経産牛31頭、育成牛9頭です。これ以外に、行天さん名義で県牧に預託されている育成牛があり、下牧時に評価してもらって買い取る形をとっています。

●労働力は？

自分が搾乳・給餌・繁殖管理・圃場作業全般を行っています。妻が搾乳及びパソコンでの牛群管理を手伝ってくれています。また、行天さんも圃場作業は手伝ってくれて、とても心強いです。

●第三者継承での就農を決意したきっかけは？

勤務していた牧場が廃業することになり、この先どうしようか迷っていると、行天さんに「うちの牛舎を引き継いでやってみないか」と声をか

けてもらったことがきっかけです。長年お世話になった香取地区で就農したいという思いもあったので、第三者継承による就農を決意しました。

●就農前後で苦労した点は？

牛の管理や牛舎での作業のことよりも、資金借入れや補助事業に伴う事務作業に手間取りました。特に就農直後は、牛舎の仕事をしながら機械や資材の発注・業者との打ち合わせなどをしなければならず大変でした。おまけに大雪のため納品や工事が予定通りにならず、家にも帰れず牛舎に寝泊まりする日々が続く、精神的にも体力的にもしんどかったです。

●就農して半年経過し、良かった点、悪かった点は？

良かった点は、牛の事故が少なく、種付けが遅れていた牛もすべて受胎し、順調にスタートできたことです。何より、毎日楽しく仕事ができています。悪かった点というより、苦労しているのは、ロールを給餌するのが思ったより大変なところです。

●今後の目標は？

牛を大事に飼い、長生きさせることです。香取の農地を継続して管理して

いきたいです。それから、新しいトラクターを買いたいです。

●今後、第三者継承を目指す人に向けてメッセージをお願いします

牛が好きで健康なら、大丈夫だと思えます。また、継承前に地域の方と交流を持つておくことは大事だと思います。また、牛舎内でのトラブルに備えて、簡単な水道工事や修理のスキルがあると便利です。

●行天さんより

あと1、2年は酪農を続けるつもりだったが、体調を崩し、どうしようか



飼槽・ウォーターカップも新しくなりました



補助事業で導入した管理小屋・飼料用コンテナ・リフト

と思つているときに吉田さんの就農希望の話聞き、渡りに船だと思つて声を掛けました。吉田さんは以前から香取地区の活動にも積極的に参加しておられ、よく知つた仲だったので安心して引き継ぐことができました。

●今後、継承を目指す人に対して

今、酪農情勢は厳しいですが、鳥取県の酪農家には大山乳業農協・県・市町村の厚いサポートがあるので、安心して酪農の世界に飛び込んできてほしいと思います。

第三者継承に関わる補助事業について

吉田さんは「酪農第三者継承モデル事業」という補助事業を活用しました。この事業は後継者不在のため、やむを得ず廃業する酪農家の経営を円滑に継承するために、新規就農者を支援する目的で令和3年9月に設立されました。事業内容は、牛舎や機械の購入及びリース料や補改修、管理棟等の設備費用に対し県と市町村が補助を行うものです。補助率や詳しい内容は県のホームページにも掲載されていますが、この事業を活用して経営継承を考えておられる方はまず、大山乳業農協指導課や最寄りの農業改良普及所にご相談ください。手続きの流れについては、まずこの事業を活用するには、認定新規就農者であることが条件であり、青年等就農計画の認定書の提出が必要になります。吉田さんの場合、令和3年9月に認定新規就農者に認定されていますが、就農計画にはこの事業の活用が盛り込まれていなかったため、変更計画の承認が必要となりました。

まず、変更計画承認のための審査会に向けて、吉田さんと共に補助事業で導入する機械、補改修する設備の洗い出しを行いました。結果、管理小屋や飼料用コンテナ等、当初は自己資金対応を予定していたもの、堆肥舎の補改修やダンプの購入等、金額が大きいため導入を諦めていたものを、事業を活用して導入する事に決めました。

請までの期間が非常に短く、全ての作業が同時並行で動かざるを得ず、吉田さんの負担は大きかったと思います。年度初めからとりかかれば、もつと時間をかけて出来るものなので、時間的余裕はあると思います。左の図に時系列で申請内容と手続きの流れをまとめていますので、実際に手続きする際の参考にしてください。

計画当初に取つていた見積もりは期限が切れていたので再度見積もりを作成してもらい、追加導入するものに関しは、大急ぎで見積もりを準備してもらいました。見積もりをそろえながら、事業の申請書の作成を同時並行で行っていきました。そして、吉田さんと書類を作成しながら、金額や見積もりに見落としがないか慎重に確認しながら作業を進めていきました。

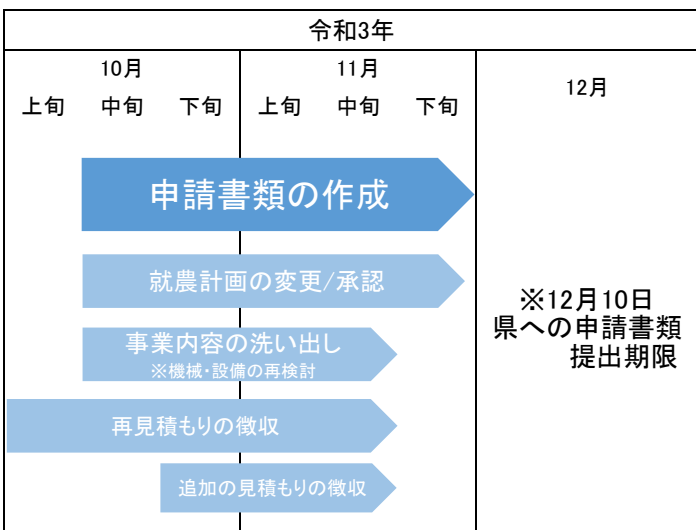


図1. 事業申請の準備と手続きの流れ

(大山普及所 永井 秀和)

第16回 生乳検査精度管理認証制度

私が所属している品質管理部には品質管理課と検査課があります。その検査課の中の生乳検査部門で、『生乳検査精度管理認証制度』を取得しています。

この制度は、生乳を検査する施設及び生乳のサンプルを取る組織の状況を第三者機関が確認し、一定の要件を満たす施設等を認証するものです。

制度の中では、検査者や検査サンプルを採取する担当者への教育訓練、検査手順書の整備等が決められています。また、定期的に外部から送られてくるサンプルを検査し、その結果が適正かどうかを評価されたりします。第三者から検査結果を評価されることで、日々の検査結果の信頼性がさらに高まります。また不定期で、現地確認も行われます。

検査部門の業務は検査するだけでなく、そのための器具や試薬の管理、検査結果のメール配信、機器のメンテナンスなどなど多岐にわたります。

検査結果は適正な結果が出ることが当たり前ではありますが、それは検査部門の日々の機器管理、検査員の検査スキル等があってこそ！それが第三者に認めてもらえることで、より信頼性のあるものにできますね。

当たり前を続けることができるよう、これからがんばっていきたくと思います。

大山まきばみるくの里、カウイーのみるく館などで新商品のチーズ2種類を発売中！



写真はイメージです



クリームチーズ

「クリームチーズ」は真っ白な色が特徴で、クセがなくなめらかな味わいのチーズです。ディップとしてそのままでも、ドライフルーツや香辛料と合わせても美味しく召し上がれます。



カチョカバロチーズ

「カチョカバロチーズ」は職人の手でひとつひとつ丁寧に作られた上品なチーズです。おすすめはフライパンで焼いてから食べること！外はカリッと香ばしく、中はもちっとした食感をお楽しみください。

※詳しい販売先は、営業課にお問い合わせください。

イベント情報

「大山まきばみるくの里」のレストランでは**8月10日(水)**より「クリームチーズ」を使用した「みるくの里のレアチーズケーキ」を1日の数量を限定して販売しております。また、**8月10日(水)～8月31日(水)**まで、レストランご利用の方全員に、「クリームチーズ」の試食をご提供いたします。



この機会に「大山まきばみるくの里」のレストランをぜひご利用ください！



おやつなどにもオススメです！

私のオススメ
みなさんこんにちは！
営業課の中林です。
私のおすすめは「白バラクリームヨーグルト110g」です。
このヨーグルトの特徴は何といっても表面のクリーム層です！この商品を初めて食べたときはあまりの美味しさに衝撃を受けました。
75gの生クリームヨーグルトもありますが110gは容量が多い分、クリーム層が厚く食べ応えがあります。皆さんぜひ食べてみてください！





大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

理事会にて次の議案が決議されました

7月20日提出議案

- 第1号議案 6月期および上半期経営検討と下半期の取組みについて
- 第2号議案 酪農指導関係諸規定の設定について

異動辞令等

【令和4年8月21日付け】

(所属及び役職) (氏名) (旧所属及び役職)

製造部

デザート課 職員 石川 美緒 製品開発センター 職員

【令和4年9月21日付け】

(所属及び役職) (氏名) (旧所属及び役職)

販売部

営業課 職員 松尾 菜穂 京都(営) 職員
東京(営) 職員 野田 悠平 営業課 職員

直売所カウイーのみらく館からのお知らせ

8月の
お買い得
セット

数量限定
お買い得スイーツセット

8/20(土)より発売



【セット内容】

白バラエクレア4個入、
白バラシュクレア1個入、
白バラプリンシュー1個入
各1個

300円(税込)

※数に限りがありますので、
なくなり次第終了です。



商品リニューアルについて

アイスリニューアル商品のご紹介

9月1日 リニューアル発売

昨年話題となったあのアイスが リニューアルします!

白バラ 白いアーモンドクランチバー

白バラ牛乳を使用したミルク風味のアイスにローストアーモンドとクランチ入りのホワイトチョコをコーティングしました。アーモンドとクランチの食感が楽しい、白い見た目のアイスバーです。



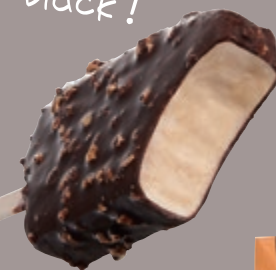
内容量90ml



白バラ 黒いアーモンドクランチバー

black!

白バラコーヒーを使用したほろ苦いコーヒーアイスにローストアーモンドとクランチ入りのビターなチョコで包んだ食べ応えのあるアイスです。アーモンドとクランチの食感が楽しい、黒い見た目のアイスバーです。



内容量90ml



ホームページ からのお声



いつもおいしく頂いています。子供が小学生になり、ますます牛乳を飲む量が増えました!これからもっとお世話になります!

(大阪府)

いつも美味しい商品がありがとうございます。私は白バラコーヒーが好きで、お風呂上がりに飲んで、1日の疲れを吹き飛ばしています。これからもよろしく願っています。

(兵庫県)

自然豊かなところで育てられた牛さんの生乳から作られた牛乳やソフトクリームはとてもおいしかったです。コロナで何かと大変ですが応援しています。

(和歌山県)

HPに惹かれて大山乳業さんを知りました。皆さんに頑張っていたいっているので、おいしい乳製品を手にとることが出来ます。感謝しかありません。これからもよろしく願います。

(北海道)

鳥取県民なのですが、今は東京に住んでいます!地元の大山乳業が大好きです!東京でも大山乳業のアイスや白バラ牛乳を買っています!これからも頑張ってください!

(東京都)

鳥取県生まれ鳥取県育ちなので小さいころからお世話になっています。白バラ牛乳がどの牛乳よりも一番おいしいです。これからもおいしい牛乳や新製品を楽しみにしています!!

(鳥取県)

大山まきばみるくの里 「#みるくフォトコン秋」を開催します！

大山まきばみるくの里では、公式Instagramにて、「#みるくフォトコン秋」を開催します。

春・夏に続いて行われたフォトコンテストで、この秋の募集で3回目の開催となります。

大山まきばみるくの里公式アカウントをフォローし、秋らしい素敵な大山や風景、施設の写真を撮影して、ハッシュタグ「#みるくフォトコン」をつけて投稿してください！ご応募頂いた方から4名様に、大山まきばみるくの里や大山乳業農協の直営店でご利用可能な商品券をプレゼントします！皆様のご応募、お待ちしております。

応募期間：2022年9月20日(火)～10月23日(日)



素敵な写真をお待ちしています！

編集後記

8月も終わりが近づいてきました。今年の夏は、6月後半から暑い日が続きました。

来月からはいよいよ9月「食欲の秋」がやって来ます。みるく館で皆さんのお気に入りの白バラ製品を探してみませんか？

組合の公式SNSアカウントでも情報発信中！！



twitter



Facebook



Instagram



YouTube

大山まきば
みるくの里も
Instagram
を始めました！



Instagram

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協
お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



日本農業新聞で 「白バラプレミアムアイス」が紹介されました

食と農の総合情報を発信する「日本農業新聞」の2022年7月30日(土)付けの特集紙面にて、「白バラプレミアムアイス」が紹介されました。

今回は「プレミアム感のあるアイスクリーム」に関する特集記事で、大山乳業農協のアイスの開発・営業担当者がWEBにて取材を受けました。

取材では「白バラプレミアムアイス」シリーズの開発経緯や、商品の特長、原料への思い入れなどについて質問を受け「鳥取県産の生乳が1番おいしいと自負している私たちだから作れる商品ができました。ぜひ多くの方に食べて頂きたいです」と熱い思いを語りました。



(写真左から)取材を受ける製品開発センター久米さん、営業課金村さん

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回紹介するのは、平成3年6月20日発行「酪農だより」第353号より、大山乳業農協での鳥取県酪農ヘルパー事業組合設立総会の様子です。この事業組合は、鳥取県における酪農経営の安定的な発展を目的の1つとしており、事業組合の発足により鳥取県の酪農ヘルパー事業は本格的に船出の運びを迎えました。

酪農だより vol.727



大山乳業農業協同組合

発行責任者／小前孝夫 編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社 発行日／令和4年8月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp